

都市との交流や農作物のブランド化で農林業を元気に 12月定例市議会的一般質問で大東議員が提案

大東議員は12月定例市議会的一般質問で、農業・林業の担い手を育成し、都市との交流や農作物や木材のブランド化をすすめ、販路を拡大し、沼田市の農林業を元気にするように提案しました。

農業・林業の担い手の育成について市長は、「認定農業者の確保・育成、新規就農者の確保などの取り組みをひきつづきおこなっていききたい」と答え、林業については、「福利厚生充実、技術・技能の向上などを支援していききたい」と答えました。

都市との交流やブランド化について、「田舎体験ツアー観光農業の推進、果樹や野菜の付加価値を高め、ブランド化を図り、販路の拡大に努めたい」と市長は答えました。



観光客の評価を把握し、リピーターを増やす取り組みを これからの観光の取り組みについて一般質問

大東議員は一般質問で、沼田市を訪れた観光客の評価をつかみ、これからの観光にいかし、観光客を増やす取り組みをすすめるよう求めました。

市長は、「旅先の満足度が沼田・老神・尾瀬地域では全国平均より劣っている調査結果がある。これからは沼田のイメージを明確に打ち出すため、食・歴史・自然などの観光資源に磨きをかけていききたい」と答えました。



新しい社会の主人公になろう

沼田市で592人が新成人に

利根沼田文化会館で13日、沼田市成人式がおこなわれ498人が出席し、新たな一步を踏み出しました。

今年の新成人は沼田地区233人、利南地区95人、池田地区31人、薄根地区68人、川田地区32人、白沢町45人、利根町43人、市外からの申し込み45人でした。

町別の新成人の数では、高橋場町が55人と最も多く、5つの町・地区では、ゼロでした。



続 ぶらり散歩 めまた道 沼田地区 その二 鍛冶町

正覚寺参道の入り口にある庚申塔は、萩原賢和の書で、文政7年(1824)賢和65歳の時のもので、同じ時期に建立されたもののなかでも秀作の一つといわれています。

萩原賢和は、片品村の出身で、14歳で書家の長沢宇勝に入門し、その後江戸に出て三井親和に学び、関東に書名をならした書家で、利根の三筆(生方鼎齋、高橋不可得)の一人です。



正覚寺参道の庚申塔

「賢和の笹字」と称される独創的な篆書体(てんしょたい)を完成させました。

正覚寺の山門は、万延元年(1860)に建立されたと推測され、江戸時代後期の建築技法の特徴などが良く残されています。



正覚寺の山門

こんにちは 大東のぶゆき です



政党ならば、地域や職場などに組織を持ち、国民と結びつき、党費や募金などで財政をまかなうべきで、政党助成金は国民との結びつきを断ち切り、政党を墮落させる最大の元凶となっています。

こんにちは。今の選挙制度になって最も多い、12の政党で争われた総選挙から1ヶ月が経過しましたが、今の政党の数はいくつになつていようか。
「新党大地」「新党改革」「新党日本」は、総選挙で議席を減らし、「政党」の要件を失い、「国民新党」も議席を減らし、分裂状態にあり、選挙直前に登場した「日本未来の党」は、「未来の党」と「生活の党」に分裂するなど、政党の消長はめまぐるしい限りです。
1995年に政党助成金が導入されてから、選挙である程度の得票や議席が見込めれば、党の綱領や、規約はそつちのけで政党助成金を受け取る「政党」の、要件の基準日となる1月1日前に、政党の分裂や新党の結成が目立ちます。

厄落とし 無病息災などを願って 正月飾りやお札をおたき上げ



13・14日、市内の多くの町では、小正月行事のどんど焼きがおこなわれました。

上原町(写真)では、午前7時に点火され、甘酒や豚汁などがふるまわれました。

無料 生活法律相談延期のお知らせ

1月23日の相談は休止させていただきます。次回は2月13日になります。お急ぎの方は、23-1519(利根沼田地区委員会)までお電話ください。

2013年1月20日

NO. 337

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料